

子どもたちの学びを広げる異校種間連携の創造

【羽生市教育委員会】

1 本校の実態・課題

本校では、学校教育目標を「地域とふれあい 人につくす」と定め、地域と密着した教育を推進する学校づくりに取り組んでいる。

児童の実態を見てみると、学力においては、特に思考力・判断力・表現力に課題がある。そこで、授業を改善し、基礎的・基本的な内容の徹底を図るとともに、授業で学んだことを活用することによって思考力・判断力・表現力の向上を図りたいと考えた。そのためには、受け取った情報を正確に理解し、整理して、分かりやすく発信し「伝え合う」コミュニケーション能力が必要となってくる。

ここでは、学校の中だけにとどまらず、様々な校種の学校との交流を通し、子どもたちの学びを広げるための本校の取り組みとして「子どもたちの学びを広げる異校種間連携の創造」についての研究の一端を述べる。

様々な人との交流・コミュニケーション

体験学習・課題解決学習

「伝えたい」内容・「伝えたい」という意欲



思考力・判断力・表現力



2 取組内容

(1) コミュニケーション能力を育てるための活動の設定

場の設定、活動の設定を整え、交流学习をすることにより、コミュニケーション能力の向上を図る。

- ・場の設定…幼児、中学生、高校生、大学生、外国人学校の児童等との交流
- ・活動の設定…教える、教わる、表現する、伝える等の活動の工夫

(2) 体験活動・課題解決学習の計画

年間計画・課程に位置付け、指導法を工夫することにより学び合いの中で思考力・判断力・表現力を定着させる。

計画の立案→交流の実践→交流の日常化

- ・年間計画・教育課程への位置付け
- ・内容の検討、指導法の研究
- ・各連絡協議会、推進協議会の実施

(3) 様々な交流学习の実践

ア 埼玉純真短期大学との交流

【1年生活科「大きくなったわたしたち」】

- ・大学のキャンパスで、大学講師による読み聞かせや折り紙、パネルシアター作り、ゲーム的な運動などを大学生と一緒に楽しむ。
- ・大学のカフェテリアで一緒にランチをとる。
- ・羽生市学びあい夢プロジェクトともリンクした活動とする。
- ・大学講師による親の学習も合わせて実施。

◎大学生とふれあう中で大学生へのあこがれや将来への夢を育むことができた。

イ ブリティッシュスクール (BST: イギリス人学校) との交流

【5年総合的な学習の時間「こんにちは 世界の友だち」(国際理解)】

- ・BSTで、パートナーと一緒にポスター作りや運動、歌などの学習をしたり、一緒にランチをとったりして、一日中英語を使って過ごす体験をする。

【6年総合的な学習の時間「ふれあおう日本の心世界の心」(国際理解、日本文化体験)】

- ・BTSの児童を招き、一緒に剣道、華道、茶道、日舞、相撲などの日本文化体験をしてパートナーに日本の文化や学校生活について教えたり伝えたりする体験をする。

◎日本とは違う文化と出会う体験により、世界の国々への関心を高めることができた。



- ◎日ごろの外国語活動の成果を発揮する場ともなった。
- ◎自分たちの郷土や文化に誇りをもち、自信をもって伝えることができるようになった。



旗取りゲーム



英語のことわざを使ったポスター作り



BST キャサリン先生来校、連絡協議会

ウ 保育所の園児との交流

【1・2年生活科 秋のフェスティバルをしよう】

- ・園児にも楽しんでもらえるようなお店作りと説明の工夫をする。(2年生)
 - ・園児をエスコートしてそれぞれのお店や校内を案内する。(1年生)
 - ・大切に育ててきたアサガオの種をプレゼントする。
- ◎相手を意識した説明の仕方を考え、遊びを工夫したり分かりやすく伝えたりすることができた。



フェスティバルのお店屋さん

エ 中学生、高校生との交流

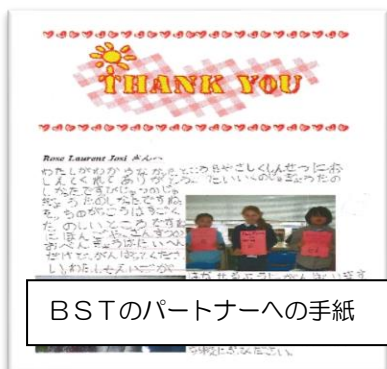
- ・サマースクールの講師として各クラスに配置し、学習指導の支援をしてもらう。
 - ・中学生に、6年生に中学校生活について紹介してもらう機会を設ける。
 - ・羽生市中学生職場体験チャレンジ学習、高校生感動体験プログラム事業の受入
- ◎6年生に中学校生活への希望を持たせることができ、自主学習や6年生の学習にしっかりと取り組もうとする意欲を高めることができた。

オ 教員相互の交流

- ・本校の研究発表会への大学生の参観
- ・高校商業科の職員による緑化の専門的指導
- ・中学校ブロックの他校の教員も参加しての授業研究会の実施

3 成果と課題

- 様々な人と関わる体験の中で伝えたいという思いが高まり、学習意欲の向上とともに、文章を順序よくまとめる、表現を工夫する等、表現力が向上した。



BSTのパートナーへの手紙



サマースクールの感想



みなみちゃんコーナー（各学年の体験学習の内容・感想等を表現するコーナーを設置）

- 様々な教科においても、学習内容の活用、表現の工夫が見られるようになった。
- 将来への夢をもち、夢に向かって努力しようとする態度が向上した。
- 校内研修等を活用し、授業研究会を行った。「伝え合う力の向上」に視点を当てた授業とワークショップ型の研究協議により、指導力の向上を図り、授業の工夫・改善を目指している。
- 基礎的・基本的な学習の確実な定着を図るために、家庭学習の手引き等を活用し、学習に関する情報提供を行うとともに、家庭と連携しながら学習習慣の確立を目指していく。